

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
長岡市	越路地区（石津、浦、神谷、中野島、来迎寺、岩塚、塚山）	令和3年3月29日	令和3年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1,542.97ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	1,117.64ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	354.64ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	203.99ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	16.38ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	261.00ha
（備考）越路地区においては、各集落において認定農業法人が存在し、担い手への農地集積率も約8割となっており、集約化がほぼ完了している。	

※1④の数値については、アンケート結果に基づく今後の規模拡大面積の合計

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・越路地区全体では、65才以上で後継者未定の農業者の耕作面積（203ha）よりも、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積（256ha）のほうが多いが、集落ごとでは来迎寺集落、岩塚集落で引き受け意向の耕作面積の方が少なく、新たな担い手の確保が必要。 ・地区全体として、後継者不足を感じている。 ・集落によっては、圃場条件の悪さを危惧する。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>【越路地区全体】各集落において認定農業法人が存在し、すでに集約化がほぼ終了している。今後、リタイヤ農家については中心経営体である認定農業者、認定農業法人等が担う。</p>
<p>石津：中心経営体である認定農業者、認定農業法人が担う。</p>
<p>浦：中心経営体である認定農業者、認定農業法人が担う。</p>
<p>神谷：担い手集約が進み耕作者が限られており、中心経営体を中心に担っていく。今後、引き続き協議を行い、農地の集約化を行っていく。</p>
<p>中野島：中心経営体である認定農業者、認定農業法人が担う。</p>
<p>来迎寺：地区内の農家自体が少ないため、近隣集落の認定農業法人を中心に担う。</p>
<p>岩塚：越路原は4つの経営体で7割を占め、ほぼ流動化は終了している。今後も、中心経営体である認定農業者が担っていく。</p>
<p>塚山：中心経営体である認定農業者等が担うが、担い手の高齢化に伴い、今後も農地の協議を行っていく。</p>

注1：中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成すること

を想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。